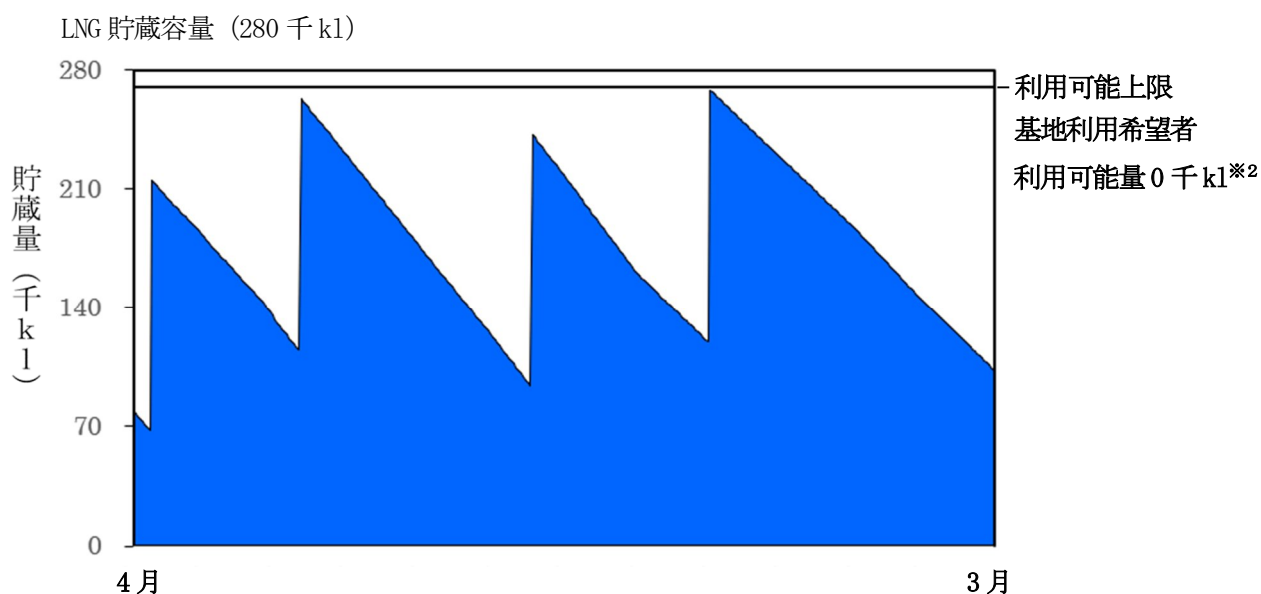


## 液化ガス貯蔵設備の容量等の公表

### (1) 現行設備

LNG 船バース	貯蔵設備	気化設備
最大船型： モス型 78,988 DWT 水深： 14.0m	140 千 k1 × 2 基 合計 280 千 k1	オープンラック式 35t/h × 3 基

### (2) 貯蔵余力のイメージ図<sup>※1</sup>



※1 上図は当社の LNG 貯蔵のイメージを示すものです。当社の傾向として、季節に関係なく、LNG の受入状況、電力およびガスの需要動向、発電所等の設備工事等によってタンク内の在庫は大きく変動いたします。

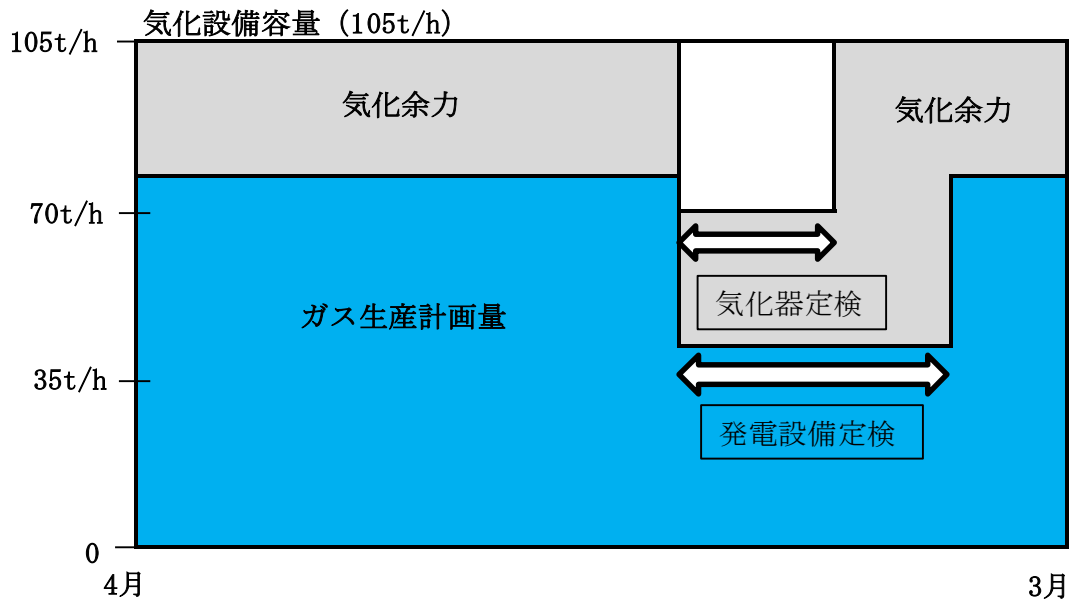
※2 ルームレント方式ではご利用いただける余力がございません。ルームシェア方式にてお申込みください。ルームシェア方式の場合、以下に示す条件の場合、年間 20 千 k1 程度のご利用が可能となる見込みです。それ以外の条件においても、ご利用可能な場合がございます。詳細についてはお問合せください。

(ルームシェア方式の受入量の算定条件)

※年度終了時に利用希望者の LNG 在庫が 0 となるように、一定の割合で払出すものとします。

※当社の高在庫が見込まれる期間は、当社から LNG 貸出を行い、高在庫期間終了後に LNG を基地に受け入れ、返却いただくものとします。

(3) 気化余力のイメージ図



(注) 上図は当社の LNG 気化余力の見通しを示すものです。実際の気化余力は、電力およびガスの需要動向、発電所や気化設備等の定期点検工事・設備工事等によって大きく変動いたします。

(4) 受入可能と見込まれる LNG の品質

組成	メタン	84.0 モル%以上
	ブタン以上	2.0 モル%以下
	ペンタン以上	0.1 モル%以下
	窒素	1.0 モル%以下
発熱量	40.7～45.5 MJ/m <sup>3</sup> N	
その他	硫化水素	標準立法メートルあたり 5mg 以下
	全硫黄分	標準立法メートルあたり 30mg 以下
	固形またはその他の不純物及び異物を含まないこと。	

注) 受け入れることができる LNG の品質は、個別の利用条件やタンク運用実態によって異なるため、上記の数値は目安とします。

(5) 配船計画のおおよその策定スケジュール

当年度分の配船計画の策定スケジュールは概ね以下の通りです。

- ・前年度 7 月ごろ …… LNG 売主との間で配船協議を開始
- ・前年度 10 月～3 月頃 …… LNG 売主との間で年間配船計画を策定

注) 上記はおおよその策定スケジュールであり、具体的な配船計画策定スケジュールは様々な LNG プロジェクトによって異なります。